

情報公開用文書

「精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究」へのご協力をお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっていません。そこで、本研究においては精神科における診療ガイドラインの講習を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証し、より適切な治療が広く行われることを目的としております。

共同研究機関等に年齢、性別、診断、重症度の基本情報、処方データ、治療方法、症状データ等のデータを提供する場合には、匿名化した情報にパスワードをかけた電子ファイルを用いて電子的配信等の方法で提供します。対応表は、研究責任者が保管・管理します。また、本研究で収集した情報を研究課題名「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明し、その障害を支援するための研究（研究代表者：橋本亮太）」で構築されている精神疾患データベースに登録します。精神疾患データベースに登録された情報は、精神疾患データベースの利活用委員会の承認を受けた国内外のアカデミアの研究機関、企業、公的データベースの精神疾患の病態を解明し、診断法・治療法を開発・普及し、精神疾患の障害を支援することに資する研究に提供され、それ以外の目的で利用されることはありません。

2, 研究（調査）の方法

統合失調症、あるいは、うつ病の診断の元「入院治療」を受けて退院された患者様に関して、年齢、性別、診断名、症状、処方された薬の内容、担当医の名前等のみを対象とし、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、研究代表施設である国立精神・神経医療センターに送られて解析に用います。

3, 研究（調査）の参加施設

大学病院を含め、200以上の機関

4, 調査期間

調査機関 研究実施許可日から 2027 年 3 月 31 日まで

5, 調査の対象となる患者様

本件の対象となるのは、上記調査機関の間に、統合失調症、あるいは、うつ病の診断の元「入院」の診療を施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 倫理委員会
研究責任者 橋本 亮太(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部)
当院研究責任者 精神科 大森 隆史
お問い合わせ先 088-631-7151 (徳島県立中央病院 精神科)